

|| 平成29年度の事業の概況

■ 預 金

期末残高は、前期末に比べ1,354百万円増加し、122,077百万円となりました。

■ 貸出金

期末残高は、前期末に比べ642百万円減少し、50,229百万円となりました。

■ 損 益

経常収益は、資金運用収益が利回りの低下などにより減少したほか、前期は貸倒引当金戻入益の計上があったことなどから前期比10.9%減少し2,029百万円となりました。

一方、経常費用は、貸出先の破綻等に伴い貸倒引当金を積み増ししましたが、人件費や国債等債券関連費用が減少したこと等により、前期比0.2%減少し1,873百万円となりました。

この結果、経常利益は前期比61.0%減少し155百万円、法人税等を控除した後の当期純利益は同60.3%減少し124百万円となりました。

■ 自己資本比率

自己資本比率は、リスクが発生する可能性のある資産（リスク・アセット）に対する出資金や利益準備金、諸積立金など（自己資本）の比率で、金融機関の経営の健全性・安全性を示す指標です。

平成30年3月末の自己資本比率は“14.76%”となり、健全性の基準とされる4%を大きく上回る水準を維持することができました。

当金庫は、これからも自己資本の充実を図り、経営の健全性と体力の強化に努めてまいります。

【期末残高の推移】



【自己資本比率の推移】



|| 直近5年間の主要な経営指標の推移

項目	単 位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
経 常 収 益	百万円	2,908	2,371	2,679	2,278	2,029
経 常 利 益	//	392	710	612	399	155
当 期 純 利 益	//	181	448	406	313	124
出 資 総 額	//	460	465	475	483	494
出 資 総 口 数	千口	920	930	950	967	988
純 資 産 額	百万円	8,661	9,806	10,352	10,295	10,386
総 資 産 額	//	125,893	126,205	128,237	133,367	134,678
預 金 積 金 残 高	//	114,838	114,154	115,342	120,723	122,077
貸 出 金 残 高	//	54,563	54,598	53,903	50,871	50,229
有 価 証 券 残 高	//	41,723	44,880	46,507	46,103	47,930
自 己 資 本 比 率	%	13.43	14.04	14.12	14.33	14.76
出資に対する配当金	百万円	18	18	18	19	14
役 員 数	人	12	12	12	11	11
うち非常勤役員数	人	5	5	5	5	5
職 員 数	人	150	149	149	148	139
会 員 数	人	10,919	10,986	11,240	11,498	11,795